

都市再生整備計画 事後評価シート  
本厚木駅周辺地区

平成24年3月

神奈川県 厚木市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	厚木市		地区名	本厚木駅周辺地区			面積	245ha			
交付期間	平成19年度～23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	785.3百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路(市道本厚木停車場旭町線、市道A-275号線、市道A-333号線、市道A-2号線、市道A-363号線、市道A-57号線、市道A-235号線外、市道A-134号線、市道A-12号線)、公園(中町花の公園)、高質空間形成施設(厚木市立厚木南老人憩の家)										
			提案事業	地域創造支援事業(厚木中学校エレベータ整備事業)										
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			提案事業	道路(市道A-365号線、市道A-272号線、市道A-271号線、市道A-273号線、本厚木駅北口広場)、公園(厚木中央公園野外ステージ整備)		～事業スケジュールの変更により削除政策の見直しにより、事業を削除			～中心市街地における賑わいの再生を図る上で指標に関連するが、数値目標への影響は少ないと考えられる。 中心市街地における安心安全快適な生活環境の整備を図る上で指標に関連するが、数値目標への影響は少ないと考えられる。 地域住民の交流促進を図る上で指標に関連するが、数値目標への影響は少ないと考えられる。					
	新たに追加した事業		基幹事業	地域創造支援事業(厚木小学校単独給食調理場整備事業)		事業スケジュールの変更により、関連事業へ移行			中心市街地における安心安全で快適な生活環境の整備を図る上で指標に関連するが、数値目標への影響は少ないと考えられる。					
			提案事業	道路(市道本厚木松枝線(松枝交差点南)、市道本厚木松枝線(厚木中学校前)、市道A-275-1号線)		～バリアフリー化整備を実施するため新たに事業追加			～中心市街地における賑わいの再生を図る上で指標に関連するが、数値目標は据え置く。					
交付期間の変更		当初変更	平成19年度～23年度	平成 年度～ 年度		交付期間の変更による事業指標、数値目標への影響								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	歩行者通行量	人/日	26,018	H17	27,300	H23	28,346	28,346	あり	本厚木駅周辺の道路整備事業により、歩きやすさが向上した。また、商業活性化イベントの実施により、まちの魅力が向上し、歩行者通行量が増加した。	平成25年2月		
	指標2	コミュニティに対する意識	%	25	H17	30	H23	28	22	×	あり	地域交流センター(「厚木市立厚木南老人憩の家」)の整備によりコミュニティの場が新たに創出され、多くの方に利用されているが、地域全体のコミュニティに対する意識の向上にはつながらなかった。	平成25年8月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度 <sup>1)</sup>	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	安心安全に対する意識	%	25	H17	/	/	40	41	/	本厚木駅周辺の道路整備事業による安全性の向上と、校内の円滑な移動を助けるエレベータの実施、市民センターのバトロールをはじめとしたセーフコミュニティの取組みにより、安心安全と感じる人が増えた。	平成25年8月		
	その他の数値指標2	新規施設(厚木市立厚木南老人憩の家)の利用人数	人	0	H17	/	/	6,477	7,197	/	新たに整備された地域交流センター(「厚木市立厚木南老人憩の家」)の利用人数は、市内における他施設平均を大きく上った。	平成24年4月		
その他の数値指標3	公園などの憩い(活動・交流)の場が十分と感じる人の割合	%	/	/	/	/	/	55	/	中町花の公園は、街なかの休憩の場としてうまく活用されており、アンケート調査では、特に、駅周辺の住民が公園などの憩い(活動・交流)の場は十分であると感じている人が多かった。				
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本厚木駅周辺において、市民がボランティアで身近な市道の美化活動を行う「道路里親制度」を活用し、登録団体による花壇の手入れや歩道の清掃などの美化活動が実施されている。</li> <li>・整備した中町花の公園は、街なかの憩い(活動・交流)の場としてうまく活用されている。</li> <li>・厚木中学校では、地域と学校の結びつきを深めるため、保護者だけでなく地域の方が授業や部活動の様子を自由に見学できる「学校へ行こう週間」を毎年秋に実施している。エレベータの設置により、地域の方々が来校された際、高齢者をはじめ誰もが校内を円滑に移動できるようになった。</li> </ul>													
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング		事後評価の方法に準じたモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた				定期的に指標の測定を行い、事業の効果を確認する。			
	住民参加プロセス		地区内の安心安全なまちづくりの取組(本厚木駅周辺環境浄化対策協議会、「合同バトロール」)				都市再生整備計画に記載し、実施できた				今後も市民参加を基本に、誰もが安心して楽しめる街を目指す。平成22年度で開催終了となってしまったため、市民参加を基本に、中心市街地の活性化に寄与するイベントを検討する。			
			商店街組合による商業振興の取組(厚木なかちょう大通り商店街振興組合、「二七の市」)				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築		活性化イベントの実施(あつぎ鮎まつり、にぎわい爆発あつぎ国際大道芸、あつぎジャズナイト、本厚木駅前イルミネーションの設置)				都市再生整備計画に記載し、実施できた				今後も継続的にイベントを実施し、市民との協働により、中心市街地の活性化と商業の振興を目指す。			
地区内の安心安全なまちづくりの取組(本厚木駅周辺環境浄化対策協議会、「合同バトロール」)				都市再生整備計画に記載し、実施できた				今後も市民参加を基本に、誰もが安心して楽しめる街を目指す。平成22年度で開催終了となってしまったため、商店街の活性化に寄与する他の取組みに対して、引き続き支援を継続する。「エコステーション」については、平成22年度に終了となったため、商店街の行う他の環境活動に対して、引き続き支援を継続する。						
商店街組合による商業振興の取組(厚木なかちょう大通り商店街振興組合、「二七の市」)				都市再生整備計画に記載したが、実施した								厚木市中心市街地のにぎわいづくりをするため、諸事業を推進し、魅力あふれる中心市街地を目指す。		
商店街組合の環境への取組(厚木なかちょう大通り商店街振興組合、「エコステーション」、「ハイブリット街路灯」)				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
厚木市市街地にぎわい懇話会の取組				都市再生整備計画に記載し、実施できた										
				都市再生整備計画に記載したが、実施した										
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

## 様式2-2 地区の概要

本厚木駅周辺地区(神奈川県厚木市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 中心市街地における賑わいと安心安全快適生活の創造		歩行者通行量	単位:人/日	26,018	H17	27,300	H23	28,346	H23
目標1 中心市街地における賑わいの再生を図る		コミュニティに対する意識	単位:%	25	H17	30	H23	22	H23
目標2 地域住民の交流促進を図る									

  

**基幹事業 道路事業**  
市道A-235号線外

**基幹事業 高次都市施設**  
厚木市立厚木南老人憩の家

**基幹事業 公園事業**  
中町花の公園

**基幹事業 道路事業**  
市道A-134号線

**基幹事業 道路事業**  
市道A-57号線

**基幹事業 道路事業**  
市道A-12号線

**都市再生緊急整備地**

**提案事業 地域創造支援事業**  
厚木中エレベータ整備事業

**基幹事業 道路事業**  
市道本厚木松枝線(松枝交差点南)

**関連事業 地域創造支援事業**  
厚木小学校単独給食調理場整備事業

**基幹事業 道路事業**  
市道A-275・333号線

**関連事業**  
東部地域商業等活性化事業

**関連事業**  
中心市街地商業等活性化事業

**関連事業**  
中心市街地活性化事業

**関連事業**  
あつき商観技能まつり

**関連事業**  
児童交通安全事業

  

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー化、歩道舗装修繕、街路灯の設置等による歩道整備を行うことで、安心安全で快適な歩行者空間となり、電線共同溝の整備、横断防止柵整備、道路の舗装打替えなどにより、安全で景観に配慮した通行環境とすることができた。</li> <li>・「中町花の公園」や「厚木市立厚木南老人憩の家」の整備により、地域活動や地域住民が交流する場の提供ができた。また、校内の円滑な移動を助けるエレベータ設置により、様々な校内行事を通じた交流を促進することができた。</li> <li>・事業中における安心安全で快適な歩行空間の提供や、歩道空間の有効幅員を狭める植栽帯の設置の必要性の検討、更なる交流促進のための地域への学校開放が課題として残された。</li> <li>・地域交流の面では、「中町花の公園」について、地域交流の場としての活用方法を検討する必要があるといった新たな課題が生じている。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の定期的な点検と必要に応じた修繕や、「中町花の公園」や「厚木市立厚木南老人憩の家」の定期的な清掃および利用者のマナーの向上など、適切な維持管理を進める。</li> <li>・歩道における植栽帯の設置については、歩行動線と景観面とのバランスを考慮し、地域住民の意見を聞きながら検討する。</li> <li>・地域への学校開放については、生徒の安全面に配慮しながら、学校との協力により、地域との交流を図る学校行事の更なる開催に取組む。</li> <li>・「中町花の公園」については、音の出るイベントなどは近隣住民に配慮しながら、利用希望者への貸し出しを行うほか、駅周辺の環境や若者の意向などから的確にニーズを把握した上で、活用方法を検討する。</li> </ul>